

レンジャーとして3年目の活動ですが、まだまだあきる野での新発見が続きます。先日は前から気になっていた場所を探しに行きました。その場所とは戸倉地区の盆掘川上流域金堀沢に存在するという洞穴です。

一般的には知られていない場所ですが、私は70年前に書かれた探検資料を手に入れました。その資料には大雑把な地図や、現状と合わないルート解説しかありませんでしたが、GPSを使用しながら記述されていた場所の周辺を調べることになりました。現場は山中でひどく荒れている急斜面で、登ったり、下りたりを繰り返しながら穴を必死に探しました。土砂崩れも沢山ある場所で自分も滑ってしまい、危ない目に遭いました。「結局ないのではないか」と思い始めましたが、何となくスタート地点に戻り、別の斜面から登ることになりました。岩場を越え、怪しい雰囲気のある辺りを見回してみると、斜面の途中に洞穴を発見しました。「やっぱり、あった！」

武田信玄が金を掘ったとか埋めたとかいう伝説を持つ穴で、確かに自然にできたものではなく、江戸時代以前に人工的に掘られた穴のようです。伝説が本当かどうかは別にして、掘った目的は今でも不明です。

資料にあったとおり、3つの穴が上下に並んでいました。上に位置している穴は浅く、入れるのは他の2つの穴です。ドキドキしながら下の穴に入ってみまし

た。古い哺乳類のねぐらを越え、行ける所まで侵入しましたが、10分ほど進んだ所で狭くなってしまい、特に何も発見できませんでした。

次に、最も大きいと記されていた真ん中の穴に侵入しました。入口を越えると、岩全体が金色の菌類などに覆われています。途中で少し立てるところもある洞穴でしたが、大部分は低く、狭い穴でした。資料には「途中で石を投げても音がしないくらい深い縦穴がある」というように書かれていましたが、見当たりません。更に狭い穴を進み、崩れた岩を上手く越え、40分ほど進んだところで最奥部に着きました。そこには、コキクガシラコウモリ3匹以外に何もありませんでした。

「まさか」と思い、洞内を確認しながら出口に戻りましたが、縦穴は見つかりませんでした。縦穴の存在以外は位置も解説もマッチしているので、間違いなく目的の洞穴に侵入しましたが、70年の間に何かの影響で洞内の状況が変わってしまったようです。穴の謎がますます気になってきました。時々夢の中で、その暗い穴の奥から、はっきりしない言葉が響いてきます。



洞穴の秘密を守る  
コキクガシラコウモリ